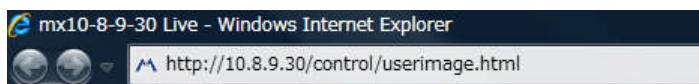


## MOBOTIX 外部ストレージと記録

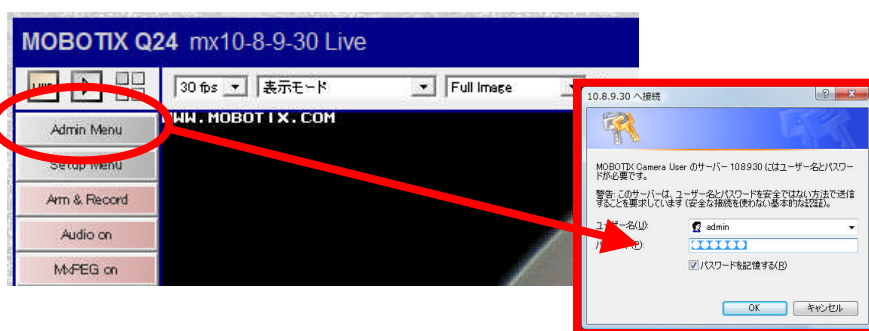
1. ブラウザから設定したいカメラにアクセスします。



2. カメラの「Admin Menu」をクリックして、ユーザ名とパスワードを入力します。

初期ユーザ名 : admin

初期パスワード : meinsm



3. ページ中部の「画像ストレージ」から「Storage on External File Server / Flash Device」をクリックします。



4. ページ右下に「一部」のボタンがあることを確認します。「全体」の場合は、クリックして画面表示を全体に切り替えます。

5. まず、上部の「Storage on External File Server / Flash Device」の「Available Storage Targets」でファイル共有する方式を選択します。

**None** : 外部ストレージを使用しません。

**NFS File Server** : 主に UNIX/Linux ファイルサーバで使用します。

**SMB/CIFS File Server** : 主に Windows ファイルサーバ/NAS、Samba で運用する UNIX/Linux ファイルサーバで使用します。

Available Storage Targets	
<input type="checkbox"/> None	Select this option to disable event recording to permanent storage.
<input type="checkbox"/> NFS File Server	NFS is the protocol commonly used to connect to UNIX/Linux file servers.
<input checked="" type="checkbox"/> SMB/CIFS File Server	SMB/CIFS is the recommended way of accessing Windows file servers or UNIX/Linux-based file servers running Samba. It also allows the camera to use Active Directory Service (ADS) and Windows Domain Controller authentication when connecting to the file server.

6. 次にファイルサーバ情報を入力します。

- ファイルサーバ IP : 画像保存するファイルサーバ/NAS の IP アドレス
- Remote Directory/Share : 画像保存するファイルサーバ/NAS 内の共有フォルダ名
- ユーザ名 : 共有フォルダにアクセスする際のファイルサーバ/NAS のユーザ名
- パスワード : 共有フォルダにアクセスする際のファイルサーバユーザ/NAS のパスワード
- StorageSize : **ファイルサーバ/NAS の容量にあわせて設定**
  - 複数台カメラを接続する場合は、必ずすべてのカメラで使用する容量が、ファイルサーバ容量を超えないように設定します。
  - ファイルサーバ/NAS を安定させるため、容量制限にゆとりを持って設定します。

**重要!!**

2.0TB のファイルサーバで RAID5 運用の場合、実際に使用できるのは約 1500GB になります。しかし、その 1500GB にさらに余裕を持たせるため、実質カメラの画像保存として使用できる最大容量をトータルで 1200GB 程度(全体の 6 割程度)に設定することをお勧めします。

- 保存期間 : **保存したい最大期間 or 無制限**
- Number of sequences : **保存したい最大シーケンス数 or 無制限**

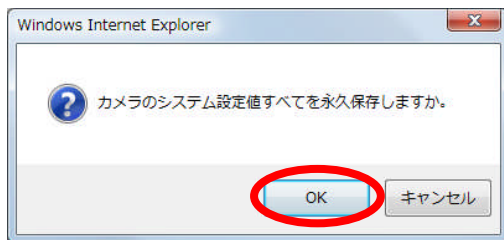
→「**Storage Size**」、「**保存期間**」、「**Number of sequences**」は、それぞれの指定した数値に達した場合、カメラは上書き保存をしていきます。複数選択した場合は、一番初めに到達した項目を優先して上書き保存を開始します。

\*必ず「Storage Size」は設定します。

Storage Options		
ファイルサーバIP	<input type="text" value="10.8.0.100"/>	サーバのIPアドレスです。 <b>注意:</b> - サーバには必ずネットワーク経由で接続します。 - ウィンドウズマシンにローカルユーザを設定します。- ドメインおよびアクティブディレクトリのログインは機能しません。
Remote Directory/Share	<input type="text" value="mxcdata"/>	Directory on the server to be mounted by the camera. <b>Note:</b> The server has to grant mounting rights to the camera.
ユーザ名	<input type="text" value="mxcam"/>	ウィンドウズ用カメラアカウントのユーザ名です。
パスワード	<input type="text" value="meinsm"/>	ウィンドウズ用カメラアカウントのパスワードです。
NTLM Mode	<input type="text" value="NTLM"/>	Mode used for NTLM authentication.
Storage Size	<input type="text" value="120000"/> MB <input type="checkbox"/> 無制限	Maximum size in megabytes used to store alarm images and sequences.
保存期間	<input type="text"/> 日 <input checked="" type="checkbox"/> 無制限	Maximum time to keep alarm images and sequences before removing (in days).
Number of sequences	<input type="text"/> <input checked="" type="checkbox"/> 無制限	Maximum number of sequences to store.

7. **設定** をクリックして、画面がぱっと切り替わったら **閉じる** をクリックして、ポップアップページの「OK」でフラッシュメモリに保存します。

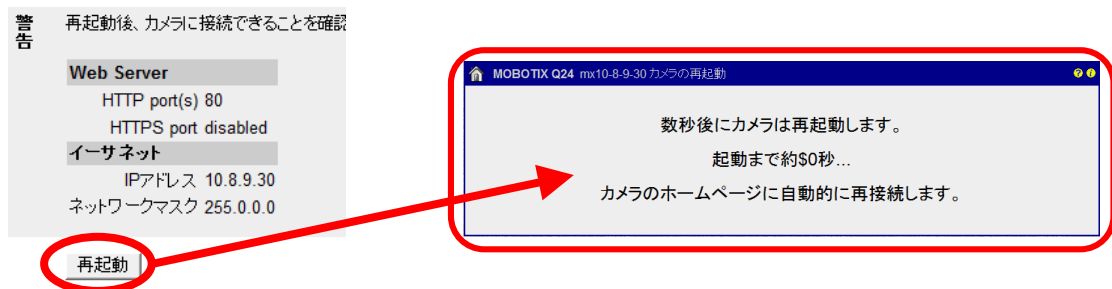
\*以後、一つの設定項目で設定変更が終了した場合、必ずこの動作を行います。



8. 再度カメラの「Admin Menu」をクリックして、ページ下部の「全体操作」から「再起動」をクリックし、カメラの再起動を行います。画像ストレージはカメラ再起動後有効になります。



9. ページ左下の **再起動** をクリックすると、自動的にカメラは再起動を行います。再起動後、約 1 分程度でカメラは起動します。



10. 次に Setup Menu を開き、記録方法を設定します。

まず、Setup Menu の「イベント共通設定」開き、動作待機が「使用可」に設定します。



11. 次に Setup Menu の「記録」を開き、録画の設定を行います。

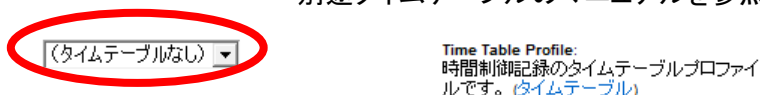
動作待機 : 使用可



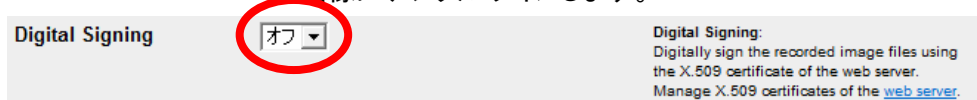
12. また、必要に応じて下記の項目を設定します。

タイムテーブル : 記録を行う時間帯をスケジューリングします。

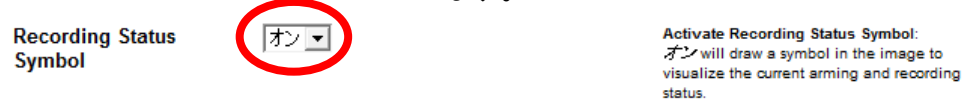
\*別途タイムテーブルのマニュアルを参照



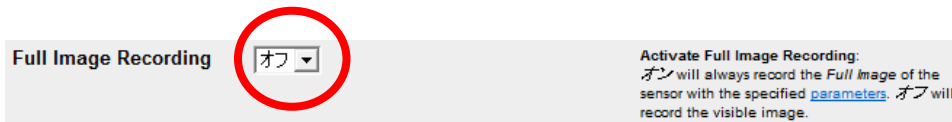
Digital Signing : オンにした場合、Web サーバ機能の X.509 certificate を使用して、記録画像にデジタルサインします。



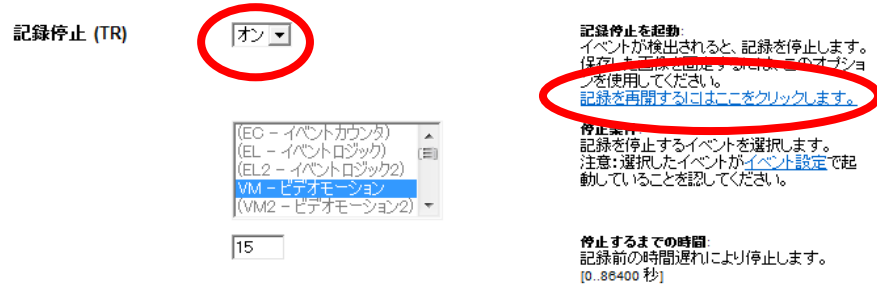
Recording Status Symbol : オンにした場合、画像の右上に記録ステータス表示を行います。



Full Image Recording : オンにした場合、カメラのデジタルズーム/パン/チルト操作を行い、拡大表示していても、カメラは常にフル画像で記録を行います。



**記録停止(TR)** : オンにした場合、イベントを選択することができ、そのイベントが発生するとカメラの記録は停止します。再び記録を開始したい場合は、右説明文の [記録を再開するにはここをクリックします。](#) をクリックします。



13. 記録方法の設定を行います。

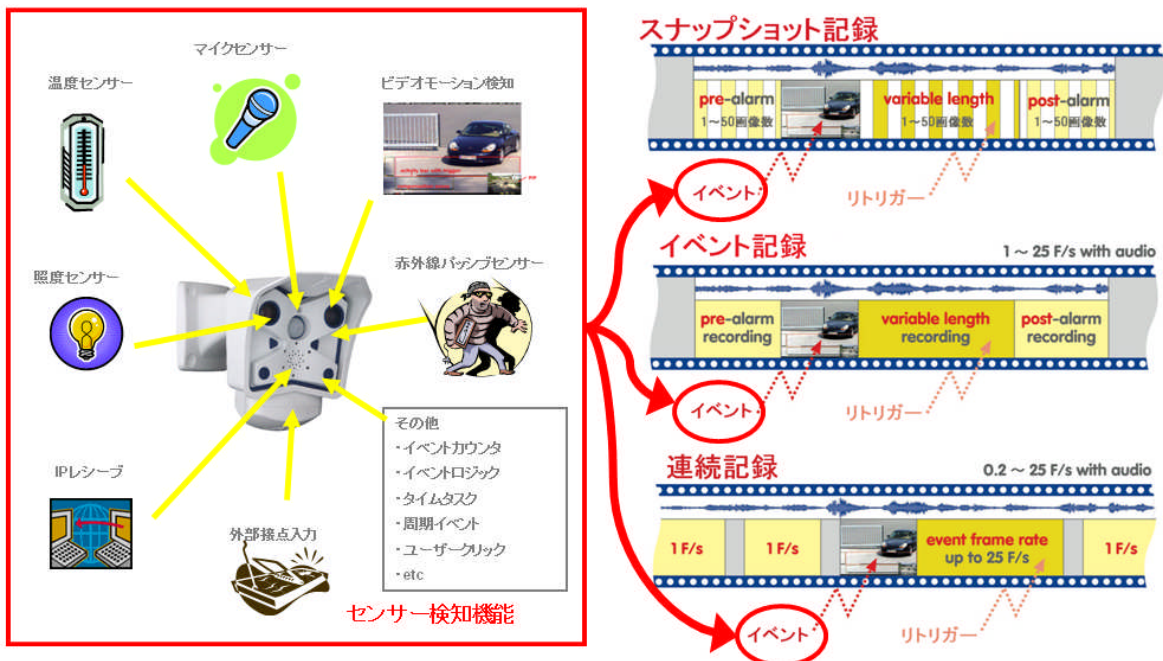
**記録機能** : スナップイベント記録 / イベント記録 / 連続記録 から選択



**スナップショット記録** : イベント発生の前?枚、後?枚を JPEG 画像で保存します。 **14 を参照**

**イベント記録** : イベント発生の前?秒、後?秒を MxPEG 動画で保存します。 **15 を参照**

**連続記録** : 連続で低フレームレート記録を行い、イベント発生後指定した高フレームレートに可変して保存します。 **16 を参照**



#### 14. スナップショット記録の設定

イベント履歴パック : ✓マークを入れるとスナップショット記録でJPEG保存した1パックを、1つのクリップにまとめ、ファイルサーバのパフォーマンスを向上させることが可能です。

履歴パック

**イベント履歴パック:**  
スナップショットパック画像を1つのクリップファイルに入れると、ファイルサーバのパフォーマンスが向上します。

記録開始 : 記録を開始するイベントを選択します。1つ以上のイベントを有効にする場合は、「Ctrl キー」を押しながらクリックして複数選択します。記録開始したいイベントは、「Setup Menu→イベント設定」でイベントを有効にする必要があります。「全体」は有効なイベントすべてで、記録開始します。

全体  
(EC - イベントカウンタ)  
(EL - イベントロジック)  
(EL2 - イベントロジック2)

**記録開始**  
記録を開始するイベントを選択します。1つ以上のイベントを選択する際は[ctrl]キーを押しながらクリックします。ブラケットで囲まれたイベントをまず起動する必要があります。フィルタイベント用のECまたはEL。

スナップショット間隔 : JPEG画像保存する間隔を設定します。単位はミリ秒です。

1000

**スナップショット間隔**  
履歴画像の記録間隔[0..600000]ミリ秒[ミリ秒]です。

アラーム前の画像数 : イベント発生前の画像保存枚数を選択します。

アラーム前の画像数:  
イベント履歴のアラーム前の画像数です。

アラーム後の画像数 : イベント発生後の画像保存枚数を選択します。

アラーム後の画像数:  
イベント履歴のアラーム後の画像数です。

再トリガ記録 : イベント発生後、カメラが記録をしている最中に選択したイベントが発生した場合、延長してアラーム後の画像数で設定した画像数で保存します。

**再トリガ記録**  
記録を再トリガするイベントを選択します。1つ以上のイベントを選択するには[Ctrl]キーを押しながらクリックします。ブラケットで囲まれたイベントをまず起動する必要があります。フィルタイベント用のECまたはEL。

記録停止 : 選択したイベントが発生した場合、指定した枚数後、記録を停止します。

**記録停止**  
記録を停止するイベントを選択します。1つ以上のイベントを選択するには[Ctrl]キーを押しながらクリックします。ブラケットで囲まれたイベントをまず起動する必要があります。フィルタイベント用のECまたはEL。

**イベント停止後の画像**  
記録停止イベント発生後、スナップショット記録に追加する画像です。

**デッドタイムの記録**  
If recording is stopped by an event, a new recording is suspended for this time [0..3600 秒].  
Note: This dead time is started when a 記録停止 event occurs.

履歴記録(HR) : タイムタスクおよび周期イベント(PE)で指定した間隔で、JPEG 静止画 1 枚を保存することが可能です。また、画像プロファイルによって、通常時の画像と違う画像サイズで保存できます。

履歴記録 (HR)

**履歴記録間隔**  
指定した間隔で追加画像を1つ記録します。最初に起動する必要があるイベントTTまたはPE。  
注意: 履歴画像間の最小間隔は10秒です。

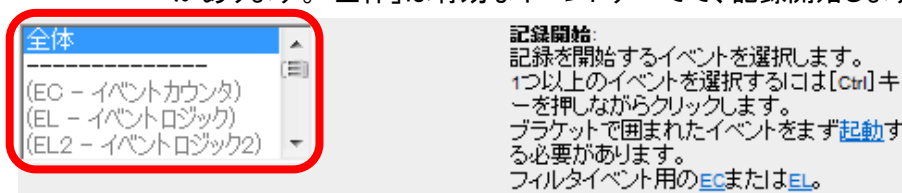
**履歴の画像プロファイル**  
履歴記録の画像プロファイルを選択します。

## 15. イベント記録の設定

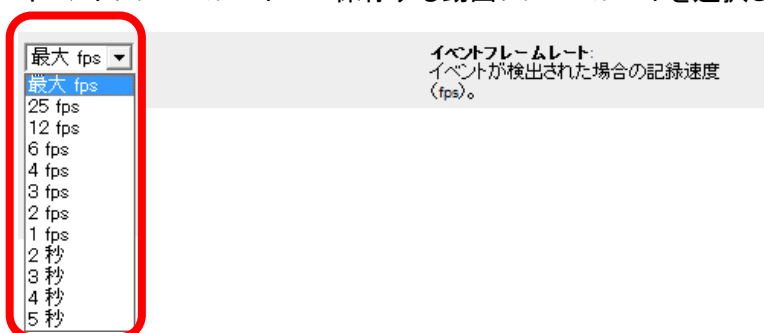
オーディオデータの記録 : 音声付動画で保存することが可能です。

**オーディオデータの記録**  
使用可能な場合はオーディオデータをストリームファイルに保存します。  
マイクを使用可にし、設定します。

**記録開始** : 記録を開始するイベントを選択します。1つ以上のイベントを有効にする場合は、「Ctrl キー」を押しながらクリックして複数選択します。記録開始したイベントは、「Setup Menu→イベント設定」でイベントを有効にする必要があります。「全体」は有効なイベントすべてで、記録開始します。



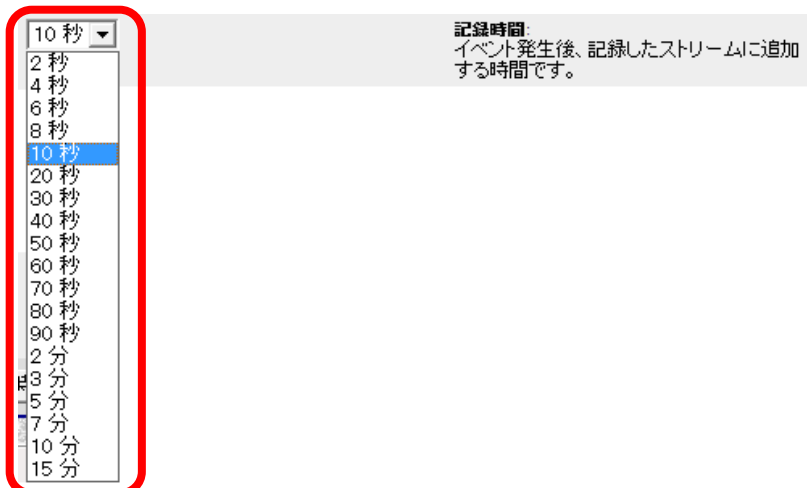
**イベントフレームレート** : 保存する動画フレームレートを選択します。



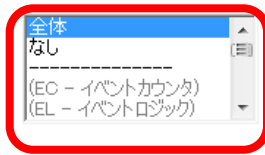
**イベント前の記録時間画像数** : イベント発生前の記録時間を選択します。



**記録時間** : イベント発生後の記録時間を選択します。

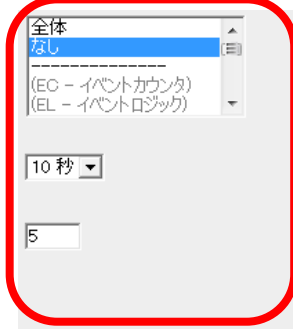


**再トリガ記録** : イベント発生後、カメラが記録をしている最中に選択したイベントが発生した場合、記録時間で設定した時間を延長録画します。



**再トリガ記録**  
 記録を再トリガするイベントを選択します。  
 1つ以上のイベントを選択するには[Ctrl]キーを押しながらクリックします。  
 ブラケットで囲まれたイベントをまず**起動**する必要があります。  
 フィルタイベント用の**EC**または**EL**。

**記録停止** : 選択したイベントが発生した場合、指定した時間後、記録を停止します。



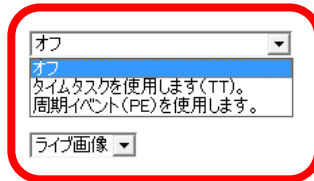
**記録停止**  
 記録を停止するイベントを選択します。  
 1つ以上のイベントを選択するには[Ctrl]キーを押しながらクリックします。  
 ブラケットで囲まれたイベントをまず**起動**する必要があります。  
 フィルタイベント用の**EC**または**EL**。

**イベント停止後の記録時間**  
 記録停止イベント発生後、記録したストリームに追加する時間です。

**デッドタイムの記録**  
 If recording is stopped by an event, a new recording is suspended for this time [0..3600 秒].  
 Note: This dead time is started when a 記録停止 event occurs.

**履歴記録(HR)** : タイムタスクおよび周期イベント(PE)で指定した間隔で、JPEG 静止画 1 枚を保存することが可能です。また、画像プロファイルによって、通常時の画像と違う画像サイズで保存できます。

**履歴記録 (HR)**

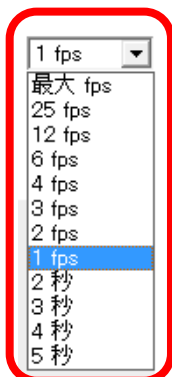


**履歴記録間隔**  
 指定した間隔で追加画像を1つ記録します。  
 最初に**起動**する必要があるイベントTTまたはPE。  
 注意: 履歴画像間の最小間隔は10秒です。

**履歴の画像プロファイル**  
 履歴記録の画像プロファイルを選択します。

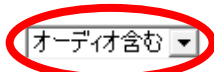
## 16. 連続記録の設定

連続記録のフレームレート : 通常時の記録フレームレートを選択します。



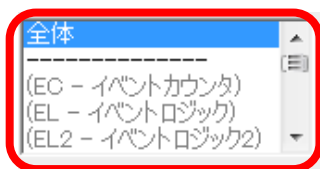
**連続記録のフレームレート:**  
連続記録の標準速度(fps)です。

オーディオデータの記録 : 音声付動画で保存することが可能です。



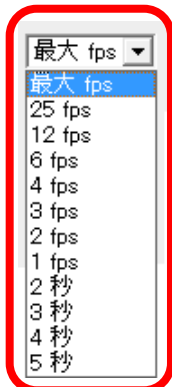
**オーディオデータの記録:**  
使用可能な場合はオーディオデータをストリームファイルに保存します。  
[マイク](#)を使用可にし、設定します。

記録開始 : フレームレートを可変して記録を開始するイベントを選択します。1 つ以上のイベントを有効にする場合は、「Ctrl キー」を押しながらクリックして複数選択します。記録開始したいイベントは、「Setup Menu→イベント設定」でイベントを有効にする必要があります。「全体」は有効なイベントすべてで、フレームレート可変記録を開始します。



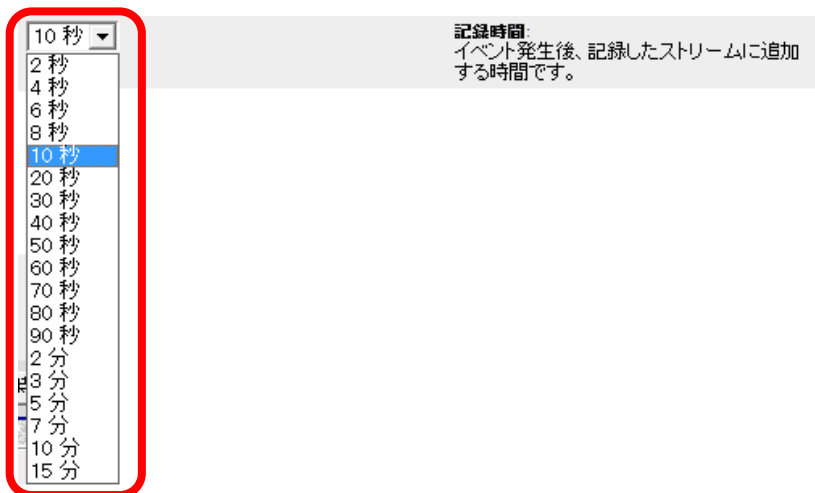
**記録開始:**  
記録を開始するイベントを選択します。  
1つ以上のイベントを選択するには[Ctrl]キーを押しながらクリックします。  
ブラケットで囲まれたイベントをまず起動する必要があります。  
フィルタイベント用のECまたはEL。

イベントフレームレート : イベント可変したい動画フレームレートを選択します。

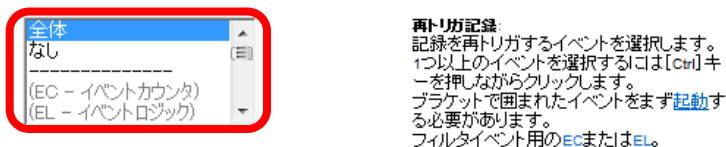


**イベントフレームレート:**  
イベントが検出された場合の記録速度(fps)。

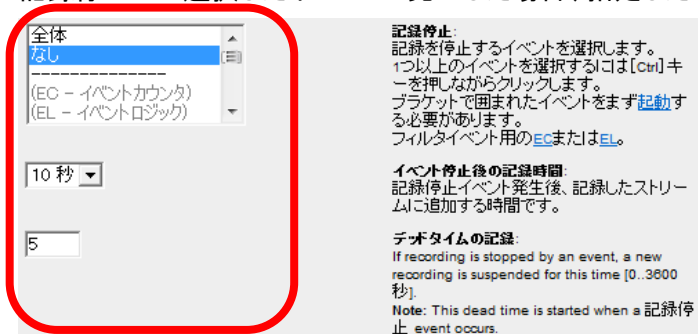
記録時間 : イベント発生後のフレームレート可変記録時間を選択します。



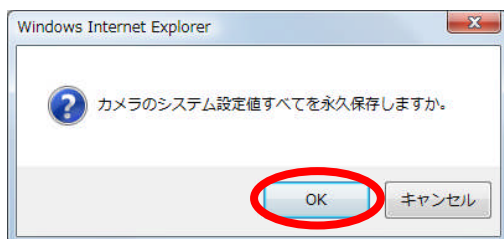
再トリガ記録 : イベント発生後、カメラがフレームレート可変記録をしている最中に選択したイベントが発生した場合、記録時間で設定した時間をフレームレート可変記録の延長をします。



記録停止 : 選択したイベントが発生した場合、指定した時間後、記録を停止します。



17. **設定** をクリックして、画面がぱっと切り替わったら **閉じる** をクリックして、ポップアップページの「OK」でフラッシュメモリに保存します。



18. 最後に、カメラ画像の右下のステータス表示を確認します。



**FS** or **FS** : ファイルサーバのマウント状態を表示しています。

**黄**は正常にマウント中です。

**赤**の場合、マウントに失敗しています。今一度、画像ストレージの設定とファイルサーバの設定を見直してください。

**REC** or **REC** or **REC** : 録画の状態を表示しています。

**黄**はスナップショット記録もしくはイベント記録で記録していない状態です。

**緑**は連続記録で通常フレームレートで記録中です。

**青**はイベント発生後の記録中(スナップショット記録もしくはイベント記録)およびフレームレート可変記録中(連続記録)を示しています。